

研究課題名

難治性のがん疼痛に対する麻酔科介入の実態とその有用性

研究の目的

当院では緩和ケア専門医が不在であり、がん疼痛の管理は主治医が主体となって行っています。一方で、疼痛管理に難渋する症例に対しては麻酔科医が積極的に介入しています。本研究では、がん疼痛患者に対する麻酔科介入の実態およびその有用性を明らかにすることを目的として、診療録を用いた後方視的調査を実施します。難治性のがん疼痛に対する麻酔科介入の実態とその有用性

研究対象者

2021 年 10 月 22 日から 2026 年 5 月 3 日までの過去 5 年間に、当院においてがん疼痛に対して麻酔科が介入した患者さんを対象とします。

研究方法

対象患者さんの診療録（電子カルテ）を用いて、以下の情報を収集・解析します。

収集する情報

年齢、性別、原発がんおよび病期、がん治療の状況（化学療法、放射線療法、手術等）、麻酔科介入前後の疼痛緩和手段、神経ブロック、薬物療法、オピオイド鎮痛薬の種類・投与量（モルヒネ換算量）、投与経路、疼痛スコア、有害事象・副作用の有無、その他、疼痛管理に関連する診療情報

なお、本研究のために新たな検査や治療を行うことはありません。

個人情報の保護について

研究に利用する情報からは、患者様のお名前や ID など個人を特定できる情報を削除し、匿名化したうえで解析を行います。研究成果は学会発表や論文等で公表する場合がありますが、個人が特定されることはありません。

研究への協力を希望されない場合

本研究では、通常診療で得られた情報を利用させていただきます。本研究への情報利用を希望されない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、研究への参加を拒否された場合でも、診療上の不利益を受けることは一切ありません。

ただし、すでに研究解析や学会発表等が終了している場合には、情報を除外できない場合がありますのでご了承ください。

研究責任者

古河赤十字病院 麻酔科

研究責任者：加瀬 幸子

お問い合わせ先

電話：0280-23-7111（代表）